

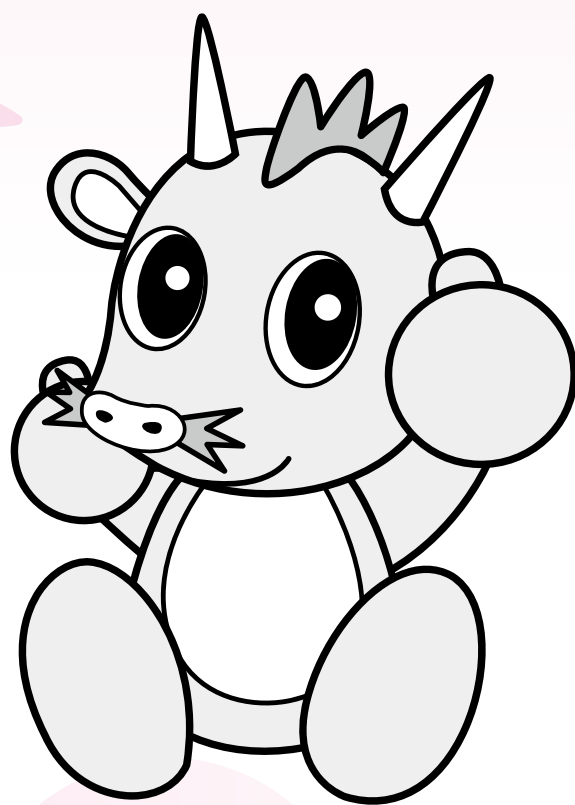


# さいたま マツチングファンド

NEWS  
ニュース

平成27年度事業報告

vol.7



## 目次

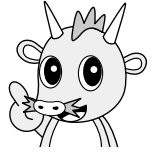
- さいたまマツチングファンド制度とは？…………… 2
- 一般助成事業…………… 2～5
- 団体希望助成事業…………… 6～7
- マツチングファンドへの寄附について…………… 8



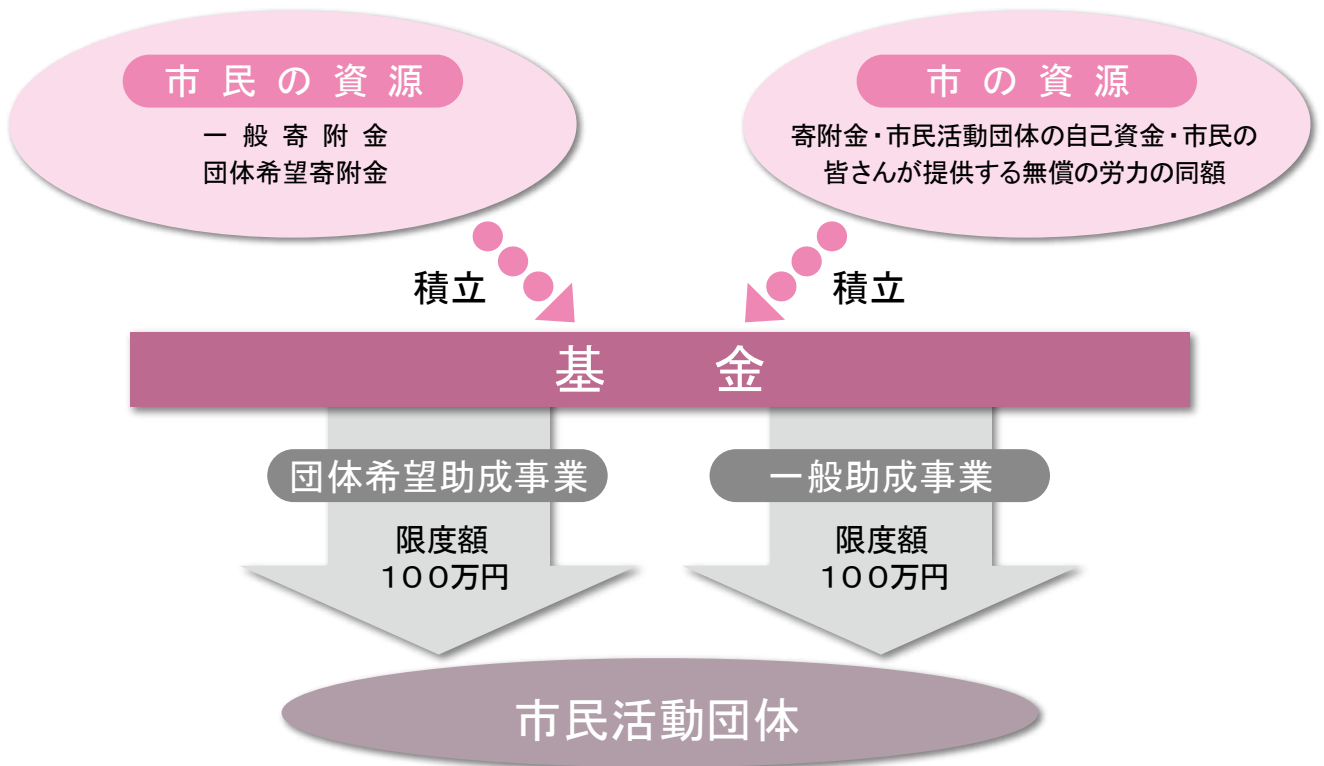
# さいたまマッチングファンド制度とは？

さいたま市市民活動及び協働の推進基金（愛称：さいたまマッチングファンド）は、市民の皆さんが寄附を通じて市民活動への参加や応援をすることができる基金です。

市民活動団体が、市と協働して地域社会の課題を解決するための事業を行う場合に、この基金より助成を受けることができます。



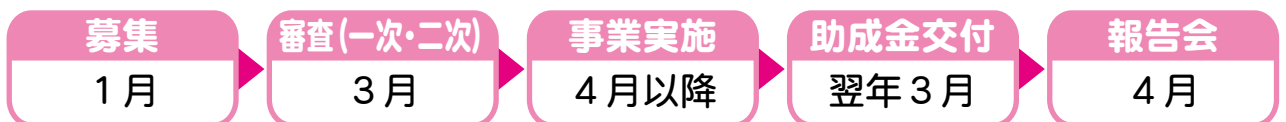
## マッチングファンドのイメージ図



## 一般助成事業

一般助成事業とは、市民活動団体が市と協働し、地域課題の解決のために行う事業に対する助成金制度です。対象となる事業は、事業の目的が一つの区の区域を越えて行う、非営利で公益的な活力のあるまちづくりに貢献する事業です。毎年1月頃に事業を募集し、さいたま市市民活動推進委員会での審査を経て、市民からの寄附金・無償の労力・市民活動団体の自己資金に見合った金額を助成します。

## 事業の流れ





## 事業実績

平成 27 年度は 5 事業を実施しました。詳しくは、3～5 ページをご覧ください。

平成 28 年度は 6 事業を実施する予定です。(平成 28 年 9 月末現在)

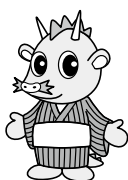
お手軽な見守りシステム 「安心電話」事業	【このまちで暮らす会&高齢福祉課】	一人暮らしや老々世帯の高齢者など、孤立しがちな方々を地域で見守り、なにか困ったときに手助けできるサポートシステムの構築を目指す事業です。
市民活動・協働の情報を発信する「さいたま市市民記者」の養成と協働の事例集「協働の秘訣(仮題)」作成事業	【特定非営利活動法人埼玉情報センター&市民協働推進課】	インターネットやITツールの普及に伴い、誰もが情報発信をできるようになりましたが、市民活動団体の情報は地域住民には届いていないため、情報発信する市民記者を養成し、協働の事例集を作成することで、市民活動と協働の促進を目指す事業です。
市民が育む地域資産として、 丹過・長谷川見世蔵での活動	【特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま&岩槻区コミュニティ課】	明治初期に建てられた伝統的な見世蔵を、市民がこの建物を保全しながら、どういった利用ができるか検討した昨年度に引き続き、市・区役所と共に公開の勉強会などを開催し、市民が企画運営できるネットワークの構築を目指す事業です。
「自分らしく生きる力」と「他者を理解し共感する力」を育む事業	【さといく&男女共同参画課(男女共同参画センター)】	多様性を持った他者を理解し、共感する能力を育むことを目的として、「自分らしく生きる力」と「他者を理解し共感する力」をNVCと呼ばれるコミュニケーション手法を使った体験型の事業です。
ICTの活用による地域の助け合いまちづくりの普及・拡大・継続性の検証	【コミュニティ・カフェおひさま & 南区コミュニティ課、南区高齢介護課】	近隣老人会やコミュニティ・カフェスタッフによるタブレットを活用した地域交流を図った昨年度事業を継続しつつ、参加者の拡大、更なる交流促進のほか、利用者の中でICTリーダーを養成して活動の自立化をめざし、事業の継続性を実証する事業です。
長寿社会の生活サポート講座 (医療制度の賢い活用方法)	【特定非営利活動法人市民の患者学研究会 & 地域医療課】	地域医療を守るための啓発活動を事業のテーマとして、限りある医療資源を意識しながら、サービスを軽い負担で受給、選択するスマートな患者になるための講座を市内各地で開催する事業です。



平成27年度

## マッチングファンド一般助成事業実施報告

【特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま&岩槻区コミュニティ課】



### 丹過・長谷川見世蔵の 保全利活用に関わる可能性検討事業

明治初期に建てられた伝統的な見世蔵である建物を育んできた地域の歴史を伝えるとともに、さらに文化を引き継ぐ拠点として保全し、ふさわしい利活用をしていくことを目的に、市民が行政と協働して、保全利活用に関わる可能性を検討しました。

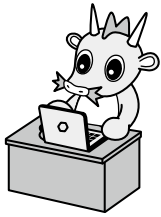


参加人数 209名

助成金交付額 114,546円

団体担当者からの声

岩槻区では、市民活動団体の大きなネットワークがあるので、情報伝達などについて心強かったです。また、この蔵に相応しい活動を進めるサポーターの組織化を検討したいと思います。今後、持ち主の意向を尊重しながら地域の歴史的文化的財として存続し、かつ文化発信拠点として機能できるよう、市と市民が連携し活動を進めていきたいと思っています。



## オープンデータで 豊かな社会を

市民レベルでのオープンデータ活用を促進するため、アイデアソン、ハッカソン、講習会、まち歩きイベントの開催、専門家・講師の派遣など、市民目線のイベントにより、オープンデータが市民権を得て、社会貢献をもたらす道筋を作るための行政の支援を行いました。



参加人数 118名

助成金交付額 336,500円

### 団体担当者からの声

Code for SAITAMAの活動で取り入れている協働作業を効果的にする方法であるマッピングパーティー、アイデアソン、ハッカソンの方法で行政と協働作業を行った初めての経験であり不安な要素もありましたが、相互に理解する姿勢があり効果的に進めることが出来たように思います。地域の課題を行政の資源と市民の資源を取り入れて取り組むことは良い取り組みですので、今後も続けていただきたいと思います。



## 地域の助け合い拠点コミュニティ・ カフェと連携したICTの活用による 助け合いまちづくりの検証

地域の助け合い拠点として活動してきたコミュニティ・カフェを中心に、スタッフ、カフェ利用者、近隣老人会を対象に、タブレット端末を活用した地域交流の促進や高齢者支援を行い、その効果及び他地区での広域的な普及促進について検証しました。



参加人数 272名

助成金交付額 574,742円

### 団体担当者からの声

当団体も老人クラブも行政が介在する信頼性を認識しながらも、行政に頼らず自己責任のもと自主的に事業を進めることが出来ました。また、補助事業であるため、公共の利益に寄与する成果が求められていることを認識しながら取り組むことが出来ました。当初は、無報酬での参加や自己資金の意義が支援スタッフに理解され難かったのですが、事業を実践することでその理解が図れたため、マッチングファンドのしくみ自体はよいものと考えられます。



## 「地域資源である氷川参道及び周辺地域を利用した市民参加の地域プロデュース事業」 さんきゅう参道プロジェクト

さんきゅう参道プロジェクトは、氷川参道を舞台とした市民マーケットであり、市民による地域プロデュースである「さんきゅう参道2016」を行うことで市民参加型社会を目指した事業です。



参加人数 260名

助成金交付額 638,065円

### 団体担当者からの声

かなり時間をかけて協働の内容等について話し合い、事業の目的と目標の設定を行いました。役所の立場と当団体の認識の違いがあり、制限されるものもありましたが、違いの確認をしながら進めることが出来ました。今後、イベントや企画からの発展的事業を展開していきたいと考えています。



## 女性の知恵で読み取る／発信する講座 「さいたま地域力×女性力ブック(仮)」をつくらう!

さいたま市で男女共同参画に関する情報誌などの作成に関わる人材を発掘・育成する事業。ジェンダーの基礎的な認識と、ライティング技術や著作権について専門家に学ぶ講座を開催し、参加者で「さいたま 地域力×女性力ブック(仮)」を完成するまでのプロセスをフォローアップしました。



参加人数 51名

助成金交付額 319,461円

### 団体担当者からの声

この事業は、市の担当者から聞いた情報誌編集の苦労話から着想した事業です。事業実施にあたってのハードル(主に経費面)は、マッチングファンド助成金を活用することで軽減することが出来ました。協働により、専門家の講義+安全な場所+託児付きという環境が整い、人材発掘がより促進されたと考えています。

## 協働の相談窓口 「協働のテーブル」をご利用ください



市民活動団体と市が協働により都市づくりを進めていくため、市民協働推進課が協働の相談窓口として「協働のテーブル」を運営し、課題解決の方策等をコーディネートします。

協働のテーブルではさいたま市内における地域課題の解決に関する提案を受け付けています。ここでの「協働」は、「市及び市民活動団体が、地域又は社会における共通の目的の実現及び共通の課題の解決に向けて、対等な立場で連携を図りながら協力して事業を行うこと」(さいたま市市民活動及び協働の推進条例より)を言います。

### よくある質問

- Q** 必ず市の担当部署と協働できるのですか？
- A** 市民活動団体が単独で実施したい事業ではなく、市との協働による事業が対象となるため、提案の内容が協働になじまない場合には、ご希望に沿えないことがあります。
- Q** 提案をする内容について、何か制約がありますか？
- A** 市民活動団体の定款または会則等に定める事業に沿う内容であり、さいたま市内における協働による地域課題の解決に関する提案であれば、特に制約はありません。

募集案内などのダウンロードや詳細はさいたま市ホームページの「協働の相談窓口 協働のテーブル」のページをご覧ください。【さいたま市ホームページ URL: <http://www.city.saitama.jp/index.html>】



## 団体希望助成事業

団体希望助成事業とは、市民が、あらかじめ基金に登録された市民活動団体の中から寄附をしたい団体を選び、寄附をすることにより、寄附金が寄せられた団体の実施する事業へ交付される助成金制度です。対象となる事業は、団体の活動趣旨に沿うものであり、地域課題の解決のために、事業目的がひとつの区の区域を超えて行う、非営利で公益的な活力のあるまちづくりに貢献するものです。

### 登録制度の概要

- ① 団体登録の申請は随時受け付けます。さいたま市市民活動推進委員会の審査(年7回程度開催)を経て登録を決定します。
- ② 登録の有効期間は登録決定の通知の日から3年間です。
- ③ 登録団体の支援を希望する寄附があった場合、助成金の申請は概ね9月と3月に受け付けます。
- ④ 助成金は、さいたま市市民活動推進委員会の審査を経て、交付を決定します。寄附者の意向を尊重しますが、団体の申請どおりに決定するとは限りません。また、寄附金の一部は市民活動全般に対する助成事業に活用します。

申請用紙のダウンロードや登録の要件等詳しくは、さいたま市ホームページの「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」のページをご覧ください。

## ご寄附いただいた方のご紹介

### 【一般寄附分】

※申出書受付順

- 浦和商业開発 株式会社 様
- 株式会社 ムトーセーフ 浦和支店 様
- 株式会社 伊勢丹 浦和店 様
- 浦和総業 株式会社 様
- 埼玉土建一般労働組合さいたま北支部片柳分会 様
- さいたま市リサイクル女性会議浦和 様
- 中山道浦和宿・二七の市実行委員会 様
- 浦和駅東口市民広場もちつき大会実行委員会 様
- サポセンファンクラブ 様
- 天野 泰博 様
- 株式会社 丸広百貨店 様
- 匿名希望の方々

平成21年度の創設以来、  
**総額 1,890,642 円**の  
ご寄附をいただきました。  
ご協力ありがとうございます。  
(平成28年9月30日現在)



### 【団体寄附分】

- 株式会社 ユアーズ・コーポレーション 様  
(寄附先 ドリームアートさいたま)
- 水辺環境再生さいたま 様  
(寄附先 NPO法人自然観察さいたまフレンド)
- 匿名希望の方々  
(寄附先 NPO法人自然観察さいたまフレンド)  
(寄附先 特定非営利活動法人岩槻まちづくり市民協議会)  
(寄附先 特定非営利活動法人エコ・エコ)

## 登録団体紹介 (平成28年9月30日現在)

特定非営利活動法人 生涯学習コーディネート協会	地域の学習者に対し、生涯学習に必要な情報提供や学習要求を満たす学習内容を提供する教育活動に関する事業を行い、全ての学習行動に寄与する事を目的としています。
特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま	まちづくりに関する様々な課題に取り組むために、建築、土木、都市計画、環境、産業経済、等の専門的な立場から活動及び支援を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。
北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ 「ふれあいプレイランド」	スポーツやレクリエーションを通じ、子ども、保護者、さらにシニア世代をも含めた多世代間の交流を図りながら、健康な体力づくりとともに、安全で、安心して生活できる、まちづくりに貢献します。
特定非営利活動法人 地域伝統文化推進機構	日本国民又世界に対し、日本地域文化の向上と伝統文化の伝承と推進を行い、次世代の育成に寄与することを目的としています。
NPO法人 自然観察さいたまフレンド	自然保護につながる自然観察を活動の原点として、自然環境保全や環境教育の諸活動をつうじて、みどり豊かなまちづくりの推進に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 岩槻まちづくり市民協議会	岩槻区内各分野で活躍している団体、区民の知恵と経験を結集し、さまざまな提案、及び推進活動を行うことにより、にぎわいと魅力あるまちづくりに寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉	市民、事業者、行政機関と連携して、地球温暖化防止などの環境保全活動を推進することにより、将来にわたり持続可能な循環型社会の構築に寄与することを目的としています。
このまちで暮らす会	住み慣れた我が家で暮らし続けるための生活サポートシステムを生活圏ごとにつくることを目的としています。
特定非営利活動法人 エコ・エコ	自然保護活動と自然の仕組みを多くの人に理解してもらうことを目的としています。
特定非営利活動法人 さいママ	この法人は、埼玉県、さいたま市に在住の方やその家族、関係者、妊産褥婦(出産直後の方)及び孤独な妊娠出産育児の軽減につながるシステムやケアの提供を創造する事や障害を持つ方の働く場所を提供する事で地域の保健・医療又は福祉の増進に寄与する事を目的としています。



# マッチングファンドへの 寄附募集中!!

さいたまマッチングファンドは、市民のみなさんが寄附を通して市民活動に参加できる仕組みです。住みよいまちづくりのために、寄附による応援をよろしくお願いいたします。

## 市民活動及び協働の推進基金への寄附の種類

- 一般寄附** さいたま市の市民活動全般を応援する寄附です。一般助成事業に活用されます（P2 参照）。
- 団体希望寄附** あらかじめ基金に登録している市民活動団体を希望して応援する寄附です。団体希望助成事業に活用されます（P6 参照）。

## 寄附をする際の手続きは？

### 寄附の申込み方法

- 寄附申出書による寄附
- 「Yahoo! ふるさと納税」からの寄附



### 寄附金の納付方法

- 納付書納付 ● 銀行振込
- クレジットカード納付（※）  
（※「Yahoo! ふるさと納税」利用時のみ選択可）

※詳しくはさいたま市ホームページ内「『ふるさと応援』寄附の手続きについて」のページをご覧ください。

## 税制上の優遇措置があります！

マッチングファンドへご寄附いただくと、「ふるさと応援」寄附として、税制上の優遇措置があります。

- 寄附者が個人の場合** 所得税や個人市民税・県民税の計算上、寄附金額に応じて控除が受けられます。
- 寄附者が法人の場合** 法人税額の算定上、全額損金算入できます。

### <ワンストップ特例制度が利用できます>

寄附をした際に、申告特例申請書を寄附した都道府県・市区町村に提出することで、確定申告することなく、控除を受けることができます（ワンストップ特例制度）。

※ワンストップ特例制度の対象となるには条件がございますので、詳しくは、住所地を所轄する税務署または、住所地の市区町村にお問い合わせください。

## お礼を差し上げます☆

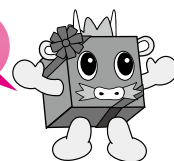
ふるさと納税（寄附）をされた方に対し、心ばかりのお礼として当市の特産品を進呈しています。1回1万円以上ふるさと納税（寄附）をされた方が対象となります。

寄附金額に応じて、1万円以上3万円未満で10種類、3万円以上の寄附で20種類の中から1つ選択できる仕組みとなります。

※詳しくは、さいたま市ホームページ内

「さいたま市『ふるさと応援』寄附のお礼の品を紹介します」のページをご覧ください。

寄附区分“33”  
に寄附してね!



お問い合わせ先

さいたま市市民局市民生活部市民協働推進課

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階

TEL 048-813-6403 FAX 048-887-0164

E-MAIL kyodo-suishin@city.saitama.lg.jp

このパンフレットは4,000部作成し、1部当たりの印刷経費は、22円です。

発行日：平成28年10月21日